

— 学 会 録 事 —

1. 日本藻類学会第15回大会

1991年3月27日・28日の両日、琉球大学教養部において第15回大会を開催した。大会会長は香村真徳氏(琉球大学)で、参加者は133名であった。講演は72題の一般講演(うち展示10題)および、特別講演3題があった。

大会第1日目に同会場において総会を開催し、引き続き同大学生協食堂で約2時間にわたって懇親会を開催した。懇親会は香村真徳大会会長(琉球大学)の挨拶、当真 武氏(沖縄水試)の司会、有賀祐勝会長の乾杯の音頭で始まり、119名という多数の参加で、盛会裡に終了した。琉球大学教養部生物学教室、理学部生物学科、海洋学科、熱帯海洋科学センターの教官、職員、学生の皆様、および沖縄県水産試験場の関係者には大会運営にあたっていろいろご協力頂き、厚くお礼申し上げます。

懇親会参加者

秋岡英承・秋山 優・鯨坂哲朗・新井章吾・有賀祐勝・飯田高明・飯田勇治・飯間雅文・庵谷 晃・石川依久子・石川 豊・石田健一郎・石原利章・市村輝宣・井上 勲・岩崎英雄・内田卓志・恵良田眞由美・太田雅隆・大野正夫・岡崎恵視・荻野洸太郎・奥田弘枝・Christine A. Orosco・笠井文絵・笠松美代子・加崎英男・梶村光男・片山舒康・勝俣亜生・加藤辰己・加藤哲也・神谷充伸・香村真徳・川井浩史・川嶋昭二・河地正伸・菊池則雄・木村憲司・工藤利彦・久場安次・黒澤健二・桑野和可・高 坤山・小亀一弘・小亀安代・小林艶子・小林 弘・斉藤昭二・斉藤宗勝・杉山孝一・嵯峨直恒・佐々 勤・佐々木次郎・佐藤弘典・佐藤征弥・瀬戸良三・竹下俊治・立澤英高・田中次郎・月館真理雄・筒井 功・綱川亜紀子・寺脇利信・Anong Chirapart・土居高爾・当真 武・渡口慈啓・友利徹男・中嶋 泰・長島秀行・長嶋美香子・中野武登・中村美峰子・中村 直・中村宗一・中山 剛・野崎久義・野澤治治・能登谷正浩・鍋島靖信・成原淳一・南波 聡・橋爪淳子・畠山典子・畠中芳郎・原奈保美・原 慶明・比嘉辰雄・馬場将輔・林 至宏・半田信司・平松 亘・樋渡武彦・福田育二郎・福島 博・藤田隆夫・藤田大介・藤森 泰・堀 輝三・堀美保子・本多大輔・正置富太郎・増田道夫・松田伸也・真山

茂樹・三浦昭雄・右田清治・御園生拓・宮村新一・Øjvind Moestrup・山本虎男・山本鎔子・横浜康継・吉崎 誠・吉田忠生・吉武佐紀子・In Kyu Lee・綿貫友彦。

2. 編集委員会・評議員会

第15回大会の前日、3月26日に宣野湾セミナーハウスにおいて編集委員会および評議員会を併せて開催し、1991年度総会に提出する報告事項・議題などの審議を行った。審議の内容については総会の項を参照された。

出席者：福島 博、井上 勲、石川依久子、岩崎英雄、香村真徳、増田道夫、右田清治、大野正夫、原慶明、岡崎恵視、堀 輝三、加藤哲也、小林 弘、三浦昭雄、横浜康継、吉田忠生の各編集委員と評議員、有賀祐勝会長、および真山茂樹、能登谷正浩、庵谷晃の各幹事。

3. 1991年度総会

1991年3月27日(大会第1日目)の講演終了後、琉球大学教養部において総会を開催した。有賀祐勝会長の挨拶に続いて、野澤治治氏を議長に選出して議事に入った。

I. 報告事項

1. 庶務関係

(1)会員状況(1991年3月現在)：名誉会員3名、普通会员550名、学生会員47名、団体会員45名、賛助会員11名、外国会員95名、購読49件、寄贈・交換27件。(2)1990年度文部省科学研究費刊行助成金「研究成果公開促進費」交付額は、970千円で、責任頁は320頁である。なお、1991年度として補助要求額2,536千円、責任頁360頁を申請した。(3)1990年度秋季シンポジウムを1990年10月1日に静岡市クーボール会館で開催した(藻類38巻4号参照)。(4)第15回大会後(3月28日～3月31日)にワークショップ(海藻採集会、講師：吉田忠生氏、田中次郎氏、香村真徳氏)を琉球大学熱帯海洋科学センターで実施する。(5)日本学術会議第15期会員選出に際し、本会からは評議員会で千原光雄氏を推薦した。また、会員推薦人および推薦人予備者には、石川依久子氏、岡崎恵視氏をそれぞれ会長が依頼した。

2. 会計関係

(1)12月31日現在の1990年度の会費納入率は、普通会

員85%, 学生会員66%, 賛助会員100%, 団体会員18%, 外国会員42%である。(2)1990年度一般会計と同山田幸男博士記念事業基金特別会計の決算報告は、1991年3月8日、岡崎恵視(東京学芸大学)、加藤季夫(国学院大学)の両会計監事により適正であると承認された。

3. 編集関係

(1)1990年度に発行した「藻類」第38巻第1～4号は、総頁数403頁、掲載論文数30編、短報10編、総説0編、その他16編、広告12頁であった。頁当たりの平均経費は10,908円であった。掲載論文の超過頁は76頁と多かったが、これは日本産海藻目録が長編であったためである。(2)1991年3月10日に発行した第39巻第1号は、掲載論文数9編、短報1編、総説1編、計報、第15回大会講演要旨などを含めて114頁であった。(3)1991年3月26日現在の投稿論文数は36編である。

II. 審議事項

1. 庶務関係

以下のことが審議され、承認された。(1)本年度秋季シンポジウムとして、第2回日韓藻類学シンポジウムを9月8日～11日に筑波大学国際会議場で開催する。世話人は原慶明氏にお願いする。(2)日本藻類学会第16回大会は1992年3月30日・31日に三浦昭雄氏(東京水産大学)を世話人として東京水産大学で開催する。ワークショップ実施については検討する。(3)日本藻類学会賞を設けるためと寄付の受入れのために、別記のように会則を改正する。(4)1991～1992年度会計監査に、市村輝彦氏(東京大学)と片山舒康氏(東京学芸大学)を選出した。

2. 会計関係

(1)1990年度一般会計決算報告および同監査報告は、表-1のとおり承認された。(2)1990年度山田幸男博士記念事業特別会計の決算報告および同監査報告は表-2のとおり承認された。(3)1991年度一般会計予算は表-3のように可決承認された。

4. 日本藻類学会第15回大会ワークショップ(海藻採集会)報告

1991年3月28日、日本藻類学会第15回大会終了後、琉球大学熱帯海洋科学センターに移動して、3月29日～31日に海藻採集会を開催した。吉田忠生氏(北大・理)、田中次郎氏(国立科博)、香村真徳氏(琉大)を講師に、下記の30名が参加した。なお、採集会の内容は小亀安代氏の参加記を参照されたい。

参加者: 新井章吾・飯田勇治・笠松美代子・香村真徳・川井浩史・菊池則雄・工藤利彦・桑野和可・小亀一弘・小亀安代・斉藤昭二・斉藤宗勝・佐藤征弥・Wong-Gee Shin・田中次郎・中西弘一・長嶋美香子・野澤治治・能登谷正浩・鍋島靖信・馬場輔輔・Sung-Min Boo・堀輝三・増田道夫・御園生拓・宮村新一・Øjvind Moestrup・山本虎夫・吉田忠生・In Kyu Lee.

なお、ワークショップの開催にあたってお世話になった、本部町役場産業観光課にお礼申し上げる。

会 則 改 正

[現 行]

第8条 普通会員は毎年会費7,000円(学生は5,000円)を前納するものとする。但し、名誉会員(次条に定める名誉会長を含む)は会費を要しない。外国会員の会費は7,000円とする。会長の承認を得た外国人留学生は帰国前に学生会費の10年分を前納することができる。団体会員の会費は12,000円とする。賛助会員の会費は1口20,000円とする。

(付則)

第6条 本会則は平成2年1月1日より改正施行する。

[改 正]

第8条 1. 普通会員は毎年会費7,000円(学生は5,000円)を前納するものとする。但し、名誉会員(次条に定める名誉会長を含む)は会費を要しない。外国会員の会費は7,000円とする。会長の承認を得た外国人留学生は帰国前に学生会費の10年分を前納することができる。団体会員の会費は12,000円とする。賛助会員の会費は1口20,000円とする。

2. 本会の趣旨に賛同する個人又は団体は、本会に寄付金又は物品を寄付することができる。寄付された金品の用途は、第11条に定める評議員会で決定する。

第13条 1. 本会は会員の研究奨励のため、「藻類」に掲載された優秀な論文の著者に日本藻類学会賞を授与する。

2. 日本藻類学会賞受賞者の選考は別に定める内規による。

(付則)

第6条 本会則は1991年3月31日より改正施行する。

日本藻類学会賞受賞者選考内規

1. 日本藻類学会会則第13条に基づき、日本藻類学会賞（以下、学会賞という）受賞者選考のために学会賞受賞者選考委員会（以下委員会という）を設ける。委員会は、本会役員および編集委員を委員（以下、委員という）とし、会長が委員長をつとめる。
2. 受賞者は、各年の「藻類」に掲載された研究論文の著者の中から選考する。
3. 受賞者を選考するため、委員は当該年の「藻類」に掲載された研究論文の中から学会賞授与に値すると思われる3編を選び、委員長に推薦する。推薦数が最も多かった論文の著者を受賞者とする。
4. 委員長は受賞者を総会に報告し、学会賞の授与はその総会で行う。

表-1 1990年度 一般会計決算報告 (90.1.1-90.12.31)

日本藻類学会

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
会費	4,360,405	印刷費	5,116,293
普通会員	3,619,150	印刷代	4,396,040
学生会員	155,000	別刷代	720,253
外国会員	270,255	編集費	331,762
団体会員	96,000	英文校閲料	100,000
賛助会	220,000	編集補助費	50,000
販売	1,171,640	通信連絡費	181,762
定期購読	1,094,640	会誌発送費	382,079
バックナンバー	77,000	庶務費	781,612
別刷代	772,100	事務用品費	18,932
超過頁負担金	912,000	会議費	34,000
広告代	180,000	通信・印刷費	413,488
受取利息	57,448	事務整理補助費	34,000
プログラム代	33,750	幹事旅費補助	53,000
文部省刊行助成金	970,000	幹事手当	160,000
雑収入	21,586	諸雑費	68,192
		学会業務委託費	1,483,200
		第14回大会補助費	120,000
		秋季シンポジウム会場費	50,000
小計	8,478,929	小計	8,264,946
前年度繰越金	4,947,624	次年度繰越金	5,161,607
合計	13,426,553	合計	13,426,553

貸借対照表 (90.12.31 現在)

借方 (円)		貸方 (円)	
定期預金 (第一勧業)	1,000,000	未払金	1,924,395
普通預金 (第一勧業)	1,766,565	前受会費	720,570
郵便振替貯金	3,314,646	前期繰越金	4,947,624
小口現金	74,692	当期剰余金	213,983
事務局	21,762	次期繰越金	5,161,607
編集局	52,930		
受取小切手	24,150		
カード	28,000		
UCカード	28,000		
アメリカンエクスプレス	0		
未収金	1,478,519		
*仮払金	120,000		
合計	7,806,572	合計	7,806,572

*第15回大会補助費前払い
1991年3月8日

本会計決算報告は適正である事を認める。
1991年3月8日

日本藻類学会会長 小林 弘 ㊟
日本藻類学会会計幹事 真山 茂樹 ㊟

日本藻類学会会計監事 岡崎 恵視 ㊟
日本藻類学会会計監事 加藤 季夫 ㊟

表-2 1990年度山田幸男博士記念事業特別基金会計決算 (90.1.1-90.12.31)

日本藻類学会

収 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
山田追悼号売上金	7,000		
日米セミナー売上金	16,000		
受取利息	71,303		
小 計	94,303	小 計	0
前年度繰越金	2,002,167	次年度繰越金	2,096,470
合 計	2,096,470	合 計	2,096,470

貸借対照表 (90.12.31現在)

借 方 (円)		貸 方 (円)	
定期預金 (住友銀行)	1,900,000	前期繰越金	2,002,167
普通預金 (住友銀行)	173,470	当期剰余金	94,303
現金	23,000		
		次期繰越金	2,096,470
合 計	2,096,470	合 計	2,096,470

1991年3月8日

本会計決算報告は適正である事を認める。

1991年3月8日

日本藻類学会会長 小林 弘 ㊟

日本藻類学会会計幹事 真山 茂樹 ㊟

日本藻類学会会計監事 岡崎 恵 視 ㊟

日本藻類学会会計監事 加藤 季夫 ㊟

表-3 1991年度 一般会計予算

日本藻類学会

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
会費	4,970,000	印刷費	4,949,000
普通会員	3,465,000	印刷代	4,160,000
学生会員	210,000	別刷代	789,000
外国会員	595,000	編集費	407,000
団体会員	480,000	事務用品費	35,000
賛助会員	220,000	英文校閲料	100,000
販売	1,048,000	編集補助費	50,000
定期購読	948,000	通信連絡費	222,000
バックナンバー	100,000	会誌発送費	390,000
別刷代	600,000	庶務費	804,000
超過頁負担金	200,000	事務用品費	20,000
広告代	180,000	会議費	60,000
受取利息	30,000	通信・印刷費	351,000
プログラム代	30,000	事務整理補助費	60,000
文部省刊行助成金	970,000	幹事旅費補助	53,000
雑収入	20,000	幹事手当	160,000
		諸雑費	100,000
		学会業務委託費	1,483,000
		第15回大会補助費	120,000
		秋季シンポジウム会場費	50,000
小計	8,048,000	小計	8,203,200
前年度繰越金	5,161,607	予備費	5,006,407
合計	13,209,607	合計	13,209,607

— 会 員 移 動 —
新 入 会

住 所 変 更

退 会

岩城住江（北海道），秋山和夫（宮城県），S. KESHAB（京都府），宮沢三雄（大阪府），森 通保（熊本県），
LOUIS D. DRUEHL (CANADA).